

# 弟子の心構え

シリーズ～福音の力～

2020/08/30

## ルカによる福音書17章1～10節

イエスは弟子たちに言われた。「つまずきは避けられない。だが、それをもたらす者は不幸である。そのような者は、これらの小さい者の一人をつまずかせるよりも、首にひき臼を懸けられて、海に投げ込まれてしまう方がましである。あなたがたも気をつけなさい。もし兄弟が罪を犯したら、戒めなさい。そして、悔い改めれば、赦してやりなさい。一日に七回あなたに対して罪を犯しても、七回、『悔い改めます』と言ってあなたのところに来るなら、赦してやりなさい。」

使徒たちが、「わたしどもの信仰を増してください」と言ったとき、主は言われた。「もしあなたがたにからし種一粒ほどの信仰があれば、この桑の木に、『抜け出して海に根を下ろせ』と言っても、言うことを聞くであろう。

あなたがたのうちだれかに、畑を耕すか羊を飼うかする僕がいる場合、その僕が畑から帰って来たとき、『すぐ来て食事の席に着きなさい』と言う者がいるだろうか。むしろ、『夕食の用意をしてくれ。腰に帯を締め、わたしが食事を済ますまで給仕してくれ。お前はその後で食事をしなさい』と言うのではなかろうか。命じられたことを果たしたからといって、主人は僕に感謝するだろうか。あなたがたも同じことだ。自分に命じられたことをみな果たしたら、『わたしどもは取るに足りない僕です。しなければならぬことをしただけです』と言いなさい。」

## イエス様の弟子たちへの教え

- 「つまずき」について
- 赦すことについて
- 信仰について
- 仕えることについて

# つまずかせてはならない

## ●「つまずき」とは

- ギリシャ語で「スキヤンドロン」(スキヤンドルの語源)
- もともと罾に使う「餌(えさ)」のこと
- “誘惑する”という意味が強い>エデンの園の蛇

## ●「つまずきは避けられない」

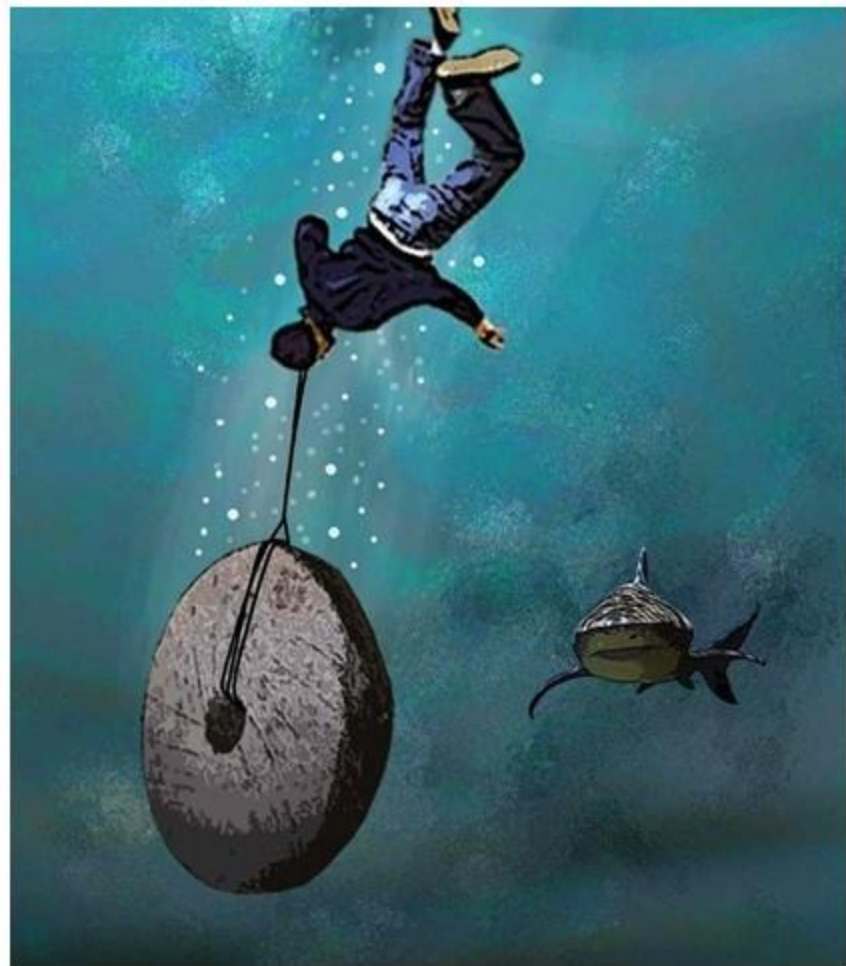
- 罪の世に合ってはつまずきを100%除くことは不可
- しかし、つまずきを「それをもたらす者は不幸」

## ●誰かをつまずかせるぐらいなら

- 「首にひき臼を懸けられて、海に投げ込まれてしまう方がまし」
- **この世に出てこない方がよい、**という意味



石臼



# 何度でも赦しなさい

- **罪を見て見ぬふりをしてはならない**
  - 「もし兄弟が罪を犯したら、戒めなさい。」
- **罪を認め、悔い改めるなら**
  - 「悔い改めれば、赦してやりなさい」
- **何回まで赦すべきか**
  - 「一日に七回あなたに対して罪を犯しても、七回、『悔い改めます』と言ってあなたのところに来るなら、赦してやりなさい。」
  - 「七回どころか七の七十倍までも赦しなさい」マタイ
  - 何度でも赦しなさい

# からし種一粒ほどの信仰

- 信仰を増やして欲しいと願った弟子たち
  - 「わたしどもの信仰を増してください」
  - イエス様のような奇跡を行いたかった？
- からし種一粒ほどの信仰で十分
  - 「もしあなたがたにからし種一粒ほどの信仰があれば、この桑の木に、『抜け出して海に根を下ろせ』と言っても、言うことを聞くであろう。」
  - 信仰を自分の利益のために使おうとしている弟子たちに対する警告

そんなことを考えている時点で  
信仰がない！





## 感謝されようと思うな

- **僕が主人の食事を準備するのは当然**
  - 『夕食の用意をしてくれ。腰に帯を締め、わたしが食事を済ますまで給仕してくれ。お前はその後で食事をしなさい』
- **命じられたことをした僕に主人は感謝しない**
  - 「命じられたことを果たしたからといって、主人は僕に感謝するだろうか。」
- **感謝されようと思うな**
  - 「自分に命じられたことをみな果たしたら、『わたしどもは取るに足りない僕です。しなければならぬことをしただけです』と言いなさい。」

# 弟子たちの思いと師の思い

	弟子	イエス様
つまずき	起こるのは仕方ない	つまずきを根絶したい
赦し	私を傷つけるやつは赦せない	悔い改めるなら何度でも赦せ
信仰	信仰が強くなれば奇跡を起こせる	そんな事を考えている時点で信仰がない
奉仕	がんばったら認めて欲しい	感謝されることを求めるな

# 弟子たちの思いと師の思い

		エス様
つまずき	起こい	を根絶したい
赦し	私を赦は	るなら何度
信仰	信仰奇跡	を考えてい 信仰がない
奉仕	がんで欲	ることを求め

弟子の心構え  
現状で満足するな  
より高みを目指せ

## 我らが師、キリストの模範

「キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。」

フィリピ<sup>2</sup>:6-8